

JPDA 4月臨時理事会議事録

日 時：平成28年4月13日（水）午後1時30分～午後5時

場 所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室 A

出席者：理事22名中16名（加藤芳夫、伊藤 透、牛島志津子、畝野裕司、江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、田川雅一、竹内清高、中森恭平、名久井貴信、信藤洋二、藤田 隆、森 孝幹、八木勇達）

欠席届（井上 聡、梅原 真、菊地泰輔、永島 学、丸本彰一、山崎 茂）

監事2名中1名（池田 毅） 欠席1名（島崎英雄）

議事の経過：

定款第31条（議長）により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者16名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

（決裁事項の議案号数はゴシック。）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み法人1社、個人1人があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の法人1社、個人1人の入会を承認した。

（1）法人会員（1社）

<東日本>

日本製紙株式会社（推薦者=中越 出）

（2）個人会員（1人）

<東日本>

近藤香織（かおり）（推薦者=信藤洋二）

第2号議案 休会承認の件

本日の理事会までに入会届を提出した個人会員1人の休会を承認した。

（1）個人会員（1人）

<東日本>

大川 浩（諸般の事情により）[平成28年4月～平成30年3月休会希望]

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員1社、個人会員7人の退会を承認した。

(1)法人会員（1社）

<東日本>

株式会社東芝デザインセンター（東芝を取り巻く諸事情により）

[平成28年3月末退会希望]

(2)個人会員（7人）

<東日本>

小西真由美（パッケージ以外の仕事が増えたため） [平成28年3月末退会希望]

佐塚崇子(たかこ)（会社が法人会員になったため） [平成28年3月末退会希望]

田中健一（会社が法人会員になったため） [平成28年3月末退会希望]

二口幸宏（法人代表になったため） [平成28年3月末退会希望]

<中日本>

山口まち子（定年退職のため） [平成28年3月末退会希望]

<西日本>

富田忠次（協会活動になかなか参加できないため） [平成28年3月末退会希望]

納田高昭（高齢になったため） [平成28年3月末退会希望]

第4号議案 協会名義使用承認の件

山崎事務局長より下記の3件については、これまでに協会名義使用承認実績があることから、既に回答済みであることが案内された。

(1)後援名義の使用依頼（2件）

- ・「2016日本パッケージングコンテスト」（JPDA賞の交付）
- ・「インテリア ライフスタイル 東京 2016」

(2)協賛名義の使用依頼（1件）

- ・第46回「日本プロモーション・マーケティング協会展」

第5号議案 正副理事長報告

伊藤副理事長から下記の報告があった。加藤理事長からは事業報告はなかったが、下記内容が補足された。

- ・会員名簿の2016年版から、20ページに平成27年度の役員名簿、21ページに事務局名簿を掲載するようにしたので確認願いたい。
- ・また、公益社団法人設立時に作成した協会の設立趣意書を会員名簿にも掲載したいと考えている。

- ・JPDAをインターネットで検索するといろんな団体があることに驚いたが、VIの改訂作業はその他の団体との違いを明確にすることで意義があったと考えている。
- ・インターネットの充実が必要であることは既に叫ばれて久しいが、特に発進力の強化が必要だと考えている。委員会の連携を強化することで発進力を強化して欲しい。
- ・VIの改訂内容は、ウェブサイトの会員専用ページで確認いただき、使用に際しては事務局からデータを入手してもらおう流れで対応して欲しい。

加藤理事長報告 なし

伊藤副理事長報告 ・4/12 「第55回2016ジャパンパッケージングコンペティション」
(一社)日本印刷産業連合会主催の表彰式に出席し、JPDA賞授与。

第6号議案 平成27年度事業活動報告及び収支決算報告 承認の件

(1) 平成27年度事業活動報告

山崎事務局長から平成27年度事業活動実績が報告され、原案通り承認された。

(2) 平成27年度収支決算報告

山崎事務局長から、平成27年度の収支決算報告が正味財産増減計算書に沿って報告され、原案通り承認された。

経常収益は予算8,596万円に対し実績は8,393万円で予算に対して202万円のマイナスであった。内訳を見ると、入会金・会費・事業費は共にプラスで公益目的事業収益は295万円のプラスであったが、収益事業の収入がマイナス529万円であったことに起因する。一方、経常費用は予算8,572万円に対し実績は7,894万円で予算に対して678万円の内輪であり、これは、収益事業費の削減額529万円に負うところが大きい。

ただ、公益事業に向けた費用が予算に対して161万円少なかった点は注意を要する。

なお、経常費用に占める公益比率は64.8%であった。

以上を総合した当期経常増減額は23.5万円の予算に対して499万円となり、予算に対して476万円のプラスであった。その内、公益目的事業費は155万円で前期の122万円を僅かに上回った。

また、収益事業のアスパック事業は主カスポンサーの応援が得られず、受託内容・収入が予算を下回ったが、7,767円のプラスで終了し、僅かではあるが7,767円を公益事業に振り替えた。

以上の結果、経常外増減の部を加えた一般正味財産期末残高は当初予算の3,040万円に対し、475万増の3,515万円で終了した。

なお、今期も公益活動強化に向け、2020年のオリンピックの年に迎えるJPDA創立60周年の公益記念事業費として200万円を積み立て、海外からの人々を含め広く一般の人々に

アピールできるJPDAならではの公益記念事業を引き続き検討していくこととした。

この件に関し、池田監事から「・事業及び収支決算報告は真実であること、・不正な行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められないこと」及び、「健全な運営がなされている」との監査結果が報告された。なお、平成27年度収支決算書の詳細については、5月初旬にお手元に送付予定の第35回通常総会議案書にて確認ください。

第7号議案 第35回通常総会の招集の決定 承認の件

山崎事務局長から資料に沿って、下記内容が提案され承認された。これは、昨年12月9日の内閣府立入検査で指摘された事項であり、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第38条に基づき第35回通常総会招集を理事会で決議したものである。

一、通常総会の日時及び場所

日時：平成28年5月31日(火) 午後2時50分～4時35分

場所：東京ガーデンパレス 2階「高千穂(B)」

二、通常総会の目的である事項

議題：第1号議案 平成27年度事業活動実績 報告の件

第2号議案 平成27年度収支決算報告 承認の件

第3号議案 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案) 承認の件

第4号議案 顕彰規定によるJPDAパッケージデザイン功績賞2016
顕彰者 報告の件

第5号議案 平成28・29年度役員(理事・監事)選任者及び補欠理事
選任者 承認の件

三、第35回通常総会開催に当たり、通常総会に出席できない社員が書面によって議決権を行使しようとするときは、議決権を行使することができることとする。

2、理事会設置一般社団法人においては、前条第二項の規定により社員が通常総会を招集するときを除き、前項各号に掲げる事項の決定は、理事会の決議によらなければならない。

第8号議案 「委員会規定(追加)」改定 承認の件

山崎事務局長から資料に沿って、アーカイブ研究会のアーカイブ委員会への昇格に関し下記内容(昇格を希望する要因及び委員会規定の改定内容)が提案され承認された。担当理事は信藤洋二氏である。なお、加藤理事長から創立60周年に向けアーカイブ委員会として、積極的に活動して欲しい旨の要請があった。

<昇格を希望する要因>

- 1) 資料の収集・保管活動の継続と収集対象品の拡大
- 2) 展覧会活動
- 3) 調査・研究活動
- 4) 収集品貸出し活動の推進
- 5) アーカイブ品の常設展示場所の確保

<委員会規定の改定内容>

委員会規定の、(種類)第2条に(12) アーカイブ委員会を追加し、(13) 東日本委員会として、以下順次繰り下げ(16)その他委員会とする。

(種類)

第2条 理事会は、この法人(以下、「本会」という。)の事業の円滑な遂行を図るため、担当理事を定めて、次に掲げる職務を行う委員会を置くことができる。

(1) 国内交流委員会

パッケージデザインに関する全国規模の事業の企画と実施

}

(12) アーカイブ委員会

パッケージデザインに関する資料のアーカイブを通じ、収集・保管に留まらず、調査研究・活用(展示・貸出)の企画と実施

(13) 東日本委員会

東日本地区を対象に、パッケージデザインに関する地域規模事業の企画と実施

}

(16) その他委員会

時代の要請及び協会の必要性に応じ、目的・範囲・事業内容及び担当理事を定めて設置

2 委員会の新設及び廃止は、理事会の決議を得て行う。

第9号議案 委員会報告

<決済事項>

○国際交流

- ・森理事から資料に沿って、「海外視察2016リサーチ」について収支計算報告(公益会計)があり、収入0円、協会補助350,000円、支出合計555,348円、収支差額 -205,348円を承認した。マイナスの要因は、通訳費を当初予算に計上し忘れたことによる。

視察日時：平成28年3月20日(日)～27日(日)

平成28年3月20日(日)～24日(水) サンフランシスコ

平成28年3月24日(水)～26日(金) ポートランド

海外視察ツアー準備のため、サンフランシスコとポートランドへ渡航した。

サンフランシスコは、グーグルやアップルなどが本社を構えるデザイン都市であり、シリコンバレーの影響を受けて誕生したツイッターやウーバー、エアーB&Bなど世界的にも成功を収めている企業が数多く存在。今回の視察は、それらの魅力溢れる企業などを輝かせているデザイン会社各社を訪問した。デザイン会社以外の視察先としても魅力的な施設が多く、ディズニ一家の足跡を紹介するミュージアムや、サンフランシスコ近代美術館(SF MOMA)があり、様々な視点、スタイルのスーパーも多く、視察先は充実している。

ポートランドは、最近全米で住みたい都市No.1に選ばれ続けており、徒歩、自転車を中心にバスや市電で移動しやすいコンパクトでクリエイティブマインド溢れる都市。店舗内に焙煎や醸造の設備を持っているオリジナルコーヒーやクラフトビールのお店がダ

ウンタウンに数多く点在。人、店舗、商品、サービスが一体感あるトータルブランディングされていて、個性があり魅力的であった。ツアー実施は10月末～11月初旬、募集開始は6月、締切は7月を予定している。

- ・森理事から資料に沿って、「アスパック事業」について収支計算報告(収益会計)があり、収入11,713,479円、協会補助0円、支出合計11,705,712円、収支差額 7,767円を承認した。なお、7,767円については公益事業費に振り替え処理をした。
(独立行政法人)国際交流基金から「アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクト」を受託し、JPDAの持つノウハウを活用して「パッケージデザインコンペティション」を推進準備中である。平成27年度は平成28年度に開催予定のコンペティションの準備期間とし、既に実績のあるタイ、インドネシアでのセミナー・ワークショップを開催すると共に、新規参加国の拡大に向け、中国(北京、上海)及び台湾を訪問し参加を働きかけ賛同を得た。なお、加藤理事長・伊藤副理事長から応募要項等作成物の原稿は事前に見せて欲しいとの要請があった。因みに、コンペティションに向けての応募要項は、現在(株)マックスラジアンで作成中とのことであった。

○調査研究

- ・加藤憲司理事から資料に沿って、「調査研究事業」について収支計算報告(公益会計)があり、収入267,000円、協会補助840,000円、支出合計1,054,562円、収支差額 52,438円を承認した。
パッケージデザインに関する情報を調査収集・整理・研究し、公式サイト内にて一般公開した。パッケージデザインの役割と課題の抽出を目的に「ニッポンのパッケージデザイン調査」・「デザイナー調査」の結果報告書を発行し関連部門に送付すると共に、公式サイトで一般公開した。併せて、調査・研究成果を発表する場としての報告会及びパネルディスカッション「売れる特産品はこうして作られる」を開催し好評を得た。
今回は、開催案内のチラシを関連団体等いرونなところにおいて貰った旨が加藤理事から案内された。なお、報告書等に関しては事前に内容を確認させて欲しい旨の要請が加藤理事長からあった。

- 以下、山崎事務局長から事業活動収支計算書(前述の総会報告の事業活動報告書と同じ内容であることから、活動内容の説明は省略された。)が報告され承認された。

○コンペティション

- ・日本パッケージデザイン大賞 2017に向けての準備(公益会計)
収入合計1,130,594円、協会補助150,000円、支出合計668,691円、
収支差額611,903円が承認された。

○展覧会

- ・ 新企画展覧会(日本を包む展) (公益会計)
収入合計206,696円、協会補助540,000円、支出合計740,616円、
収支差額6,080円が承認された。
- ・ 「日本パッケージデザイン大賞」巡回展 (公益会計)
収入合計0円、協会補助760,000円、支出合計184,234円、
収支差額575,766円が承認された。

○出版

- ・ 「年鑑日本のパッケージデザイン2015」 (公益会計)
収入合計5,402,160円、協会補助0円、支出合計4,586,293円、
収支差額815,867円が承認された。
- ・ 「PACKAGE DESIGN INDEX 2016」 (公益会計)
収入合計14,797,080円、協会補助0円、支出合計13,467,031円、
収支差額1,330,049円が承認された。
- ・ 「新企画本の企画」 (公益会計)
収入合計0円、協会補助1,100,000円、支出合計164,580円、
収支差額935,420円が承認された。

○広報

- ・ 「広報誌を年2回発行」 (公益会計)
収入合計1,180,000円、協会補助1,003,000円、支出合計1,637,760円、
収支差額-7,957円が承認された。

○インターネット

- ・ 「協会ウェブサイトの企画運営・更新、メルマガ、SNS発信、マイワークスの運営等」
(公益会計) 収入合計1,385,000円、協会補助1,003,000円、支出合計1,637,760円、
収支差額750,240円が承認された。

○アーカイブ研究会

- ・ 「アーカイブ活動」 (公益会計)
収入合計0円、協会補助484,480円、支出合計206,778円、
収支差額277,702円が承認された。

○デザイン保護

- ・ 「ウェブサイトの委員会レポートページ運営」 (公益会計)
収入合計0円、協会補助242,000円、支出合計294,318円、
収支差額-52,318円が承認された。
- ・ 「D-8デザイン保護研究会への参加、セミナー2回の開催」 (公益会計)

収入合計86,000円、協会補助160,000円、支出合計251,225円、
収支差額-5,225円が承認された。

○東北プロジェクト

- ・「おいしい東北」の支援及び東北の学生へのアプローチ（公益会計）
収入合計0円、協会補助280,000円、支出合計212,975円、
収支差額67,025円が承認された。

○東日本

- ・トークカフェ2015「大喜利的商品開発のヒミツ」（公益会計）
収入合計213,500円、協会補助102,900円、支出合計188,214円、
収支差額128,186円が承認された。
- ・2016新年デザイン交換会
（公益会計）収入合計183,000円、協会補助90,000円、支出合計210,364円、
収支差額62,636円が承認された。
（法人会計）収入合計992,750円、協会補助0円、支出合計992,000円、
収支差額750円が承認された。

○中日本(愛・岐)

- ・2016新春デザインセミナー（公益会計）
収入合計3,000円、協会補助66,000円、支出合計28,663円、
収支差額40,337円が承認された。

<報告事項>

○国際交流

江藤理事・森理事から資料に沿って、アスパック事業に関し中国(北京・上海)及び台湾を訪問し、セミナー・ワークショップ開催の状況が案内され、両国共に今期のコンペティションへの参加が決まった旨が報告された。なお、海外で開催したセミナー・ワークショップの国内開催は6月を予定していることが案内された。

○コンペティション

名久井理事から口頭で、外部審査員の4名は確定したこと、及び会員審査員に関しては現在本人の承諾を確認中であることが案内された。また、検討中の贈答品と詰め合わせ品の区分は難航しているが、4月20日の委員会では結論を出す予定であることが案内された。

○出版

- ・加藤理事長から口頭で、今年も印刷博物館のP&Pギャラリーで「現代日本のパッケージ2016」を開催予定で、テーマの「しずる」に合った作品をインデックス掲載作品の中から、掲載者の協力を得て集めたい旨が案内された。

○中日本(愛知・岐阜)

- ・八木理事から口頭で、5月25日(水)に今年の3月で名古屋造形大学を定年退職された山口まち子氏を講師に迎えて、デザイナーズセミナーを開催予定であることが案内された。セミナー講師に関し、加藤理事長から2月に西日本で開催されたセミナーでは、講師の資生堂OB・元理事の松本泉氏の講演が非常に良かったと聞いているので、中日本でも検討してみてもとのアドバイスがあった。

第10号議案 事務局報告

山崎事務局長から、下記の案内があった。

- ・第35回 通常総会、その他スケジュールについて
- ・平成27年度 入会・退会者一覧について
- ・協会名義使用承認の件について
- ・平成28年度事業計画(案)及び正味財産増減予算(案)(内閣府提出用)について

第11号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成28年5月31日(火) 午後1時～2時40分

場所：東京ガーデンパレス 3階 「天空(A)」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL. 03-3813-6211

※ 定例理事会終了後に第35回通常総会、臨時理事会、顕彰式・記念講演会、交流会の開催を予定しています。